

④ マレーシア研修中の写真紹介

【児童の反応】

夏休み前から、「先生はこの夏休みにマレーシアへみんなのことを紹介しに行きます。」と、伝えており、クラスの写真もとっていた。よって、9月から、子どもたちはマレーシアの学習を心待ちにしていた。授業が始まったのが、11月だったので、子どもたちは「待ってました！」とばかりに、興味深く集中していた。とても素直に目の前の情報を吸収している様子が伝わってきた。

【感想】

・マレーシアにもドラゴンボールやコナンがあってびっくりした。・先生がしてたマジックを、マレーシアの子がしていて、うれしかった。ほんとに、ぼくたちの写真をみてくれていた。

2限目:スラマップタン マレーシア!

① あいさつ(1限目の復習)

② マレーシアボックス

・生活班8グループを利用 (写真)トダウンをつける女性 トイレ 象の足跡 ニッパやしのほうき
地下鉄の乗車時の注意の看板 エスカレーター乗降時の注意の看板
(モノ)シナモン セパタクロー

【児童の反応】

マレーシアボックスでは、グループごとに活発に意見を交わすことができていた。それぞれのグループで正解を出すところまで話し合いができた。子どもたちの新鮮な感性にあらためて驚かされた。

【感想】

・ゾウがほんとにいるんだと聞いておどろいた。でも、日本とおなじように、電車も走っているんだと思った。・シナモンは紅茶のにおいがした。・パンとかドーナツについてる。・セパタクローを、けったらい良かった。むずかしかった。・サロンを着せてもらいました。きれいでした。

3限目:わたしたちにできること

① 絵本を読む。コジュ君がこまっていることとして紹介。

② 身近にある熱帯雨林でうまれたものを探す。

(机、いす、黒板、紙、ノート、トイレトーパー…など、木を連想するものは多く出た。)

③ パーム油についてとりあげる。

(お菓子のふくろ、洗剤を紹介)

④ コジュ君も私たちもこまらないで生活するにはどうしたらいいか、考えよう。

【児童の反応】

コジュ君の人形は効果的で、親近感をもって絵本の中の世界にはいりこめたようだ。3年生なりに、自分たちの生活と遠い国の森がつながり、そこで起こっている現実を理解したようだった。難しい説明は、なるべく省略したため、全体に伝わった。しかし、もっと知りたいと思う児童にとっては、物足りなかったようだ。授業後、詳しく質問してくる姿があった。

7. 感想

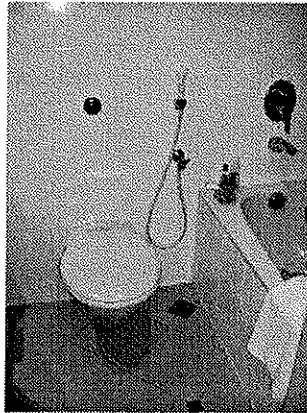
子どもたちは、はじめて知ることだらけなので、集中し、よく吸収してくれた。3年生は、自分たちの校区が全ての中で生活している。社会科では、自分の住んでる市町村の学習をすすめているなかで、世界の国は、3年生にとっては想像をはるかにこえる広い世界なのだろう。よって、教師の説明が多くならないように注意し、3年生ならではの視点で考えてほしいと思った。結果、マレーシアという国の名前は印象に残ったようで、テレビやどこかでみたら、報告してくれたり、オラウータンのコジュ君ともよく遊んでいる。また、ものや食べ物を大切にしようとする姿もみられる。このような意識を、一人でも多く、少しでも長く考えると、忘れたころにまた、「スラマップタン! マレーシア パートII」を取り入れられたらと思った。

8. 使用した教材

①



②



③



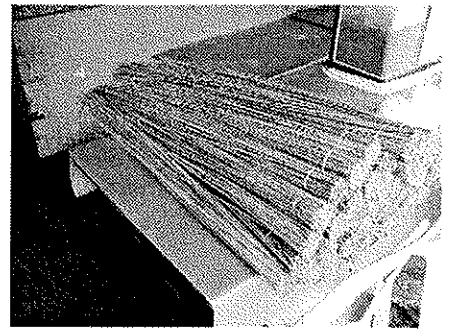
④



⑤



⑥



【マレーシアボックス(写真)】

- ①トダウンをつけた女性
- ②トイレ
- ③象の足跡
- ④地下鉄の乗車時の注意の看板
- ⑤エスカレーター乗降時の注意の看板
- ⑥ニツパやしのほうき